



楽しくて、保護者の変容につながりやすい
ワークショップのコツ教えます!

悩みを話してスッキリ!

楽しく話して仲間づくり!

いろんな考えに、なるほど!

親のまなびあいワークショップ研修会

子育て講演会で良い話を聞いてもその場だけ…。保護者同士の話し合いが盛り上がらない…。家庭の教育力向上に向けた講座等で悩んでいませんか?保護者同士が楽しく仲間づくりをしながら学び合えるワークショップを開く方法や成功のコツをお伝えします。実際に体験しながら、有意義な子育てワークショップを開くスキルを身につけましょう!

日時: 9月19日(月)祝日 13:30~15:00

場所: 生活学習館 学習室 101・102

対象: 子育て講座開催者(PTA、家庭教育支援チーム、公民館など)

講師: 吉弘淳一氏 (福井県立大学 社会福祉学科教授)

申込: Webの申込フォームより →

定員: 40名



申込は
こちら

親のまなびあい
プログラムを使って
話し合います

「親のまなびあいプログラム」
とは、よくある日常のエピソード
を題材に、自分の思いや体験
などを話し合いながら自分
の子育てを振り返り、気づき
や共感を大切に学び合う
参加型の学習プログラム
の事です。

話し合いのテーマ例

子育て前期の保護者向け

- ・ついイライラ…。余裕をもって楽しく子育てするには?
- ・ゲームがやめられない。家庭のルール、どうしてる?

子育て後期の保護者向け

- ・子どもの反抗期、どう接すればいい?
- ・子どもが悩みを話せる関係を作るには?

すべての保護者向け

- ・子どもが伸びるほめ方・叱り方って?
- ・失敗をおそれずチャレンジできる子に育てるには?

など多数あります

親のまなびあいプログラムを活用したワークショップの流れ

①アイスブレイク(参加者がうちとけ、話しやすい雰囲気をつくる) 10~15分

初めて会った方どうしても、楽しく会話がはずみます。

②ワーク(4~5人のグループで、エピソードをもとに考えを書き、話し合う) 20~40分

意見を出しやすい、あるあると感じられる身近なエピソードです。

③ふりかえり(自分の気づきや他の参加者の意見を聞く) 10~15分

いろいろな考えや体験を聞くことができ、参考になります。

ワークシート例

コピーしてすぐに
使えます!

テーマ 子どもを伸ばすほめ方って?

エピソード

はると君は算数が苦手です。毎日の宿題にとても時間がかかります。でも、間違いを直したり、家でもお父さんやお母さんに教えてもらったりしながら宿題をしていました。

すると、ある日の算数のテストが90点でした。今までで一番良い点数なのではると君は大喜びし、家で、にこにこ笑顔でテストを見せました。

ワーク1 あなたなら、はると君にどんな言葉をかけますか?

ワーク2 その言葉を聞いて、はると君は、どんな気持ちになるでしょう?

ワーク3 これから、はると君にどんな言葉をかけようと思いますか?

テーマ 子どもがなかなか勉強しない…。勉強に向き合うにはどんな工夫が必要?

エピソード

あやねさんは学校から帰るなり、ゲーム三昧。一向に勉強を始める気配がありません。

言わないでおこうと思っても、ストレスが溜まりイライラ。つい「勉強しなさい。」と叱ってしまうこともたびたびです。

ワーク1 あやねさんが机に向かわない理由を、できるだけたくさん考えてみましょう。

ワーク2 あやねさんが机に向かえない理由は、ないでしょうか?

ワーク3

問い合わせ

福井県教育委員会 義務教育課

TEL 0776-20-0574

FAX 0776-20-0671

gimu@pref.fukui.lg.jp